

報連相・仕事の見える化・目標面接のすすめ

# 「情報の共有化によるマネジメント」

通常、人を動かそうと思うと、指示・命令・依頼・懇願・報償等の活用が頭に浮かびます。しかし、人は「動かされている」と思うと、モチベーションが下がるものです。

一方、人は誰でも「ワケを知りたい」という欲求があります。情報があれば判断できますし、判断できれば自発的に気の利いた行動ができるものです。その気の利いた行動が新しい価値を創造します。

現代は先が見えない時代とも言われ、過去の成功体験がこれからも通用するとは必ずしも言えなくなっています。

こうした中、職員一人ひとりに自立的な行動(自ら考え、自ら組織を巻き込んで行動すること)を期待する今日において、「情報の共有化」はますます重要になっています。

今回の講習会では、職場でできる情報の共有化の考え方・進め方についてわかりやすく解説いたします。

日・場所

平成24年5月16日(水)  
ハローワーク島原

日・場所

平成24年10月17日(水)  
ハローワークプラザ長崎  
メルカつきまち3F

日・場所

平成24年11月14日(水)  
佐世保市労働福祉センター

時間

13:30~15:30 (受付は13:15から)

定員

30名

受講料

無料

対象者

介護事業所の雇用管理を担当する方、  
又はその他ご希望の方等

※ 3会場で同様の内容を行います  
時間・定員・受講料・対象者は  
全て共通です

※ 駐車場はございませんので  
近くの有料駐車場をご利用ください

## 〈カリキュラム〉

### I. はじめに

- ・職員の働きがいと質の高いサービスの実現
- ・人材をモチベートする本質
- ・組織が成立する要素

### II. 報連相の考え方・進め方

- ・人は事情がわかれば、自ら動き出す
- ・報連相は仕事の進め方そのものである
- ・報連相の3つの視点と3つの深度

### III. 仕事の見える化の考え方・進め方

- ・仕事の見える化は身近な改善の出発点
- ・言われて行動するより、自ら気づいて行動したい
- ・仕事の見える化の事例

### IV. 目標面接の考え方・進め方


- ・自分の考えを話すことで参画意識が芽生える
- ・自己開示とフィードバックが組織を強化する
- ・相手の行動スタイルに合わせた対応をとる

## 〈講師紹介〉

佐藤信吾 氏  
(社会保険労務士)

佐藤社会保険労務士事務所 所長  
会社方針の共有化と社員の能力向上を可能にする評価・面接制度の設計・導入、その他、賃金管理、労務トラブルを防止する労務管理のあり方についての講演等を社会福祉協議会、商工会議所等主催で多数行われています。

【お申し込み・お問い合わせ先】

 (財)介護労働安定センター  
長崎支部

〒850-0057長崎市大黒町9-22  
大久保大黒町ビル新館6F  
TEL: 095-828-6549  
FAX: 095-828-6589